

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワイワイキッズLabo 日吉台2丁目		公表日		R8 年 5 月 30 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	小集団に分けて、時間割で部屋を移動するようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用者の予約状況を見てシフトを組んでいる。	必要に応じてワイワイキッズLaboの他の事業所から応援を頼むこともできる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	今年度、全部屋に鍵が付き、より安心して落ち着いて過ごせる環境を整えた。	玄関前に階段はあるが、今のところ問題なく利用していただいている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	1日に2回消毒清掃を行ったり、定期的にエアコンや換気扇を掃除するなど気を配っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンするために必要な部屋が用意されている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	ケース会議する時間を確保し、職員全員で振り返りをしている。	全員そろって話ができる時間を少しでも長くとれるように時間の使い方を見直していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者アンケートは回収率100%である。	はい以外を選んだ理由を記入してもらおうように声をかけ、改善すべき点については話し合っていくたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員全体ミーティングを年6回程度開いている。また、週に2回のZoomミーティングも行い、3事業所で情報共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	第三者による外部評価は未実施。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部講師に委託し、実際に療育に入っただきながら研修を実施。県や自治体で開催する講座にも参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	3月にホームページに公表済み。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	事業所独自のアセスメントを使い、保護者と課題やニーズを共有した上で作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日々の療育の中で中間評価を記入しやすいように、記録ファイルに挟み込むようにするなどして、職員全員が共通理解のもとで支援できるようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	記録ファイルに挟み込んで、いつでも見られるようにし、どの職員が担当しても確認できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	事業所独自のアセスメントや、ムーブメントのMEPA-Rなどを参考にして対応している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	5領域については児童発達支援計画にわかりやすく明記している。職員間でも共通理解のもと支援を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職員間で話し合う時間をとり、チームとなって相談し合いながら工夫、立案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	固定化されないようにいろいろな課題を工夫して提示し、取り組めるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	1対1の個別療育と小集団活動を基本としているため、無理なく実施できている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		時間割を見直して、さらに職員で話し合う時間を増やせるように検討していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	記録をしながら職員間で伝達しているが、大事なことはノートに記録して、次回の支援につなげるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回必ず記録をとるようにし、次の支援につなげられるように必要なことは話し合っ支援の方法を考えている。	紙ベースの記録で時間はかかるが、紙ベースの方が細かく分かりやすく記録でき、過去の記録もすぐに見られるというよさもあり、このやり方を継続する予定。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6ヶ月ごとにモニタリングを行い、保護者のニーズを聞き取るようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	地域活動以外はできている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	いくつかの選択肢を示し、自分で選ぶことができる機会を設定している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0%	100%		保護者からのニーズがあれば今後行っていく予定である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0%	100%		保護者からのニーズがあれば今後行っていく予定である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%		今後そのような機会があれば情報交換していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	センターの方とは、連絡を取り合うことも多く、その時に利用している児童の情報共有をしたり、相談したりする機会がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		地域交流活動未実施。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	参加している。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に必ず担当職員と保護者で話をするようにしている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		ペアレントトレーニングプログラムは提供していない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明し、周知している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者とモニタリングの機会をもち、話し合っ作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	保護者にサインしていただく際に、内容について確認していただき、質問があれば答えるようにしている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	半年ごとのモニタリングを丁寧に行っている。また、健康観察チェックシートや公式LINEでも相談の申し入れができるようにしており、希望があれば相談の時間を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	今年度は茶話会を2回開催した。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	健康観察チェックシートや、公式LINEで相談や申し入れができるようにしており、申し入れがあった時には迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	公式LINEを使って伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	書類などは送迎時に手渡すように気をつけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	非言語的コミュニケーション、ジェスチャーやマカトン、絵カードを使うなど配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	非言語的コミュニケーション、ジェスチャーやマカトン、絵カードを使うなど配慮している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアル策定済み。マニュアルを閉じたファイルを入りに置いており、保護者が閲覧できるようにしている。避難訓練は年1回実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCP策定済み。年に2回訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	送迎時や健康観察チェックシートを使って普段から状況などについては確認するようにしている。半年ごとのモニタリングの時に変化がないか確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0%	100%	半年ごとのモニタリングの時に変化がないか確認しているが、食事を提供する機会はない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	毎日チェックリストを使って管理している。毎月1回のチェックも実践している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	契約時に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	事故や怪我等あった時にはヒヤリハット報告書に記入して職員間で共有し、善後策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を開催し、職員研修も行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束の禁止については職員研修を行うとともに保護者との契約書にも明記している。		